

バスケットボールにおけるインサイドアウトが 勝敗に及ぼす影響について

浦馬場 咲希 (長崎大学)

1. 目的

本研究の目的は、バスケットボール競技におけるインサイドアウト (以下 IO) が勝敗にどのような影響を及ぼしているのかを明らかにすることである。

2. 研究方法

- 1) 対象者: バスケットボール女子日本リーグ (以下 WJBL)2017-2018 のレギュラーシーズン上位 6 チームの総当たり戦全 45 試合.
- 2) 調査方法: WJBL 公式 HP に掲載されているビデオを視聴し、データを収集した.
- 3) 分析方法: IO を戦術 A (インサイドにパス→アウトサイドにパス→シュート), 戦術 B (ドリブルで制限区域内に攻める→アウトサイドにパス→シュート) に分類し, 出現率及び成功率について分析を行った.

3. 結果と考察

1) チームごとの比較

総合順位 1 位から 3 位までを上位, 4 位から 6 位までを下位としたとき, 出現率は下位の方が高く ($p < .01$), 成功率は上位の方が高かった (図). 出現率について下位の方が高かったのは, 3P を多く打つことで点数を稼ごうとし, IO の出現も増えたことが考えられる.

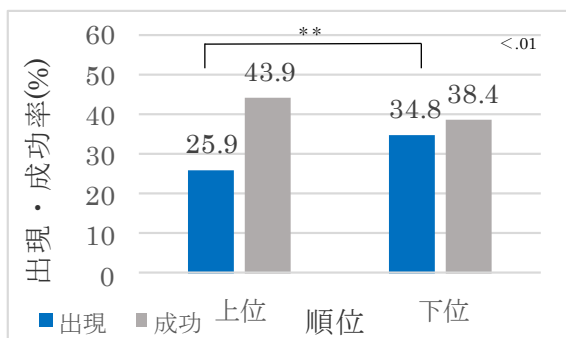


図 上位・下位における IO 出現率及び成功率

2) 勝敗ごとの比較

出現率, 成功率ともに大きな差がなかった. しかしながら, 戦術別に出現率と成功率を分析すると出現率は戦術 B が高いが, 成功率は戦術 A の方が高かった (チームごとも同様の傾向). これは戦術によって生み出されるアウトサイドプレーヤーのシュートを打つまでの時間的余裕の有無が関係していると考えられる.

3) クォーターごとの比較

出現率, 成功率ともに各クォーターの移り変わりを比較すると, 勝ちチームは出現率, 成功率ともに大きな差はなく安定していたが, 負けチームにはばらつきが見られた. 特に, 勝敗における出現率については, 第 3 クォーターに大きな差が見て取れた. 内山ら (2018) の研究において勝敗に影響を及ぼす各ピリオドの重要度について第 3 クォーターの重要度が挙げられているが, IO についても第 3 クォーターでの出現が勝敗に繋がっていると考えられる.

4. 結論

本研究では, どのクォーターでも安定して IO を出現させ成功に繋げることはもちろん, 特に第 3 クォーターで IO を出現させることが勝敗に繋がっていることが明らかになった. また, 出現率が高い戦術 B の成功率を高めることができれば, さらに勝利に近づくことが示唆された.

5. 主な参考文献

内山治樹, 池田英治, 吉田健司, 町田洋介, 網野友雄, 柏倉秀徳 (2018). バスケットボール競技における「ゲームの流れ」と勝敗との因果関係に関する研究: 4 つのピリオドの相互依存関係に着目して. 体育学研究 63. p.618